

第76回目のGIS News!です

「寒の戻り」と言うのでしょうか。春のような陽気に寒さを忘れかけた頃、突然、雪が舞い降りました。まだ冬なのだと説き伏せられる気持ちですが、変わりゆく季節を体で感じられる気がして心地よいものです。

今回は、地図に関する情報として「ゴミマップ」の話題を提供いたします。



国土交通省山形河川国道事務所
「最上川 2003 ゴミマップ」より

ゴミマップとは?

「ゴミマップ」とは、多くの場合、ゴミの投棄状況や投棄位置を記した地図を指します。作成する目的や用途は様々ですが、ゴミ清掃や清濁度調査など、地域の環境や景観を守るための活動の一環として作成されることが多いようです。また、総合学習の教材として「ゴミマップ」が利用され、学校として取り組み、経年変化を記録しているところもあるようです。

事例紹介

全国には沢山のゴミマップがあり、特に河川や海岸に関する地図が多く見受けられます。山形県に関するものでは「最上川 2003 ゴミマップ」があり、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所のホームページにも公開されておりますので、是非ご覧になって下さい。

参照URL：<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/>

また、環境悪化が原因で富士山が世界遺産（自然遺産）の候補者リストから落選したことを契機に、「富士山を守れ」とゴミ監視ボランティアを募集し、カメラ付き携帯電話を利用したゴミマップ作成を行っている事例もあります。

参照URL：<http://www.fujisan.or.jp/action/kankyō/>

これまでゴミマップは関係者だけで情報収集するのが常でしたが、デジタル技術の普及に伴い、多くの方を巻き込む形へと変貌しつつあります。インターネットを介してゴミマップを含めた様々な情報を提供する一方で、GPS付きのデジタルカメラや携帯電話などから情報提供を受けられる環境を整えている事例もあり、今後の推移がとても楽しみです。

日本の「環境」に対する意識は欧米に比べ低いように言われますが、劣っていない面も沢山あるそうです。全国に沢山のゴミマップが作成されている事実からも、そう言えるのかもしれないね。

次回のGIS News!

今回は 2004 年 3 月 22 日発行予定です。よろしくおつき合い下さい!

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 横山 和浩 発行日：2004 年 3 月 8 日

